

当初の年間指導計画（横浜版学習指導要領で示した年間単元配列表）

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
第1学年	体づくり運動⑨ (ほぐし③・多様 く移動・パラン ス)⑥)	ゲーム⑧ (鬼遊び)	走・跳の 運動遊び ⑧ (走の運動 遊び)	水遊び⑩	表現リズム遊び ⑩ (表現・リズムダ ンス)	器械・器具を 使ったの 運動遊び⑧ (固定施設・ 鉄棒)	走・跳の 運動遊び ⑧ (跳の運動 遊び)	ゲーム⑩ (ボールゲーム く手)	器械・器具を 使ったの 運動遊び⑦ (マット)	体づくり 運動⑥ (多様く力 試し・用 具)	ゲーム⑩ (ボールゲーム く足)	器械・器具を 使ったの 運動遊び⑧ (跳び箱)

再編成後の年間指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
第1学年	各学校から の課題に 応じた 家庭学習	体づくりの運動遊び⑦ (ほぐし③・多様く移動・パ ランス)④)	水遊び①		表現リズム遊 び⑧ (表現・ リズム)	走・跳の運動遊び⑭ (走・跳)	器械・器具を 使ったの 運動遊び⑦ (固定施設・ 鉄棒)	器械・器具を 使ったの 運動遊び⑦ (マット)	ゲーム⑦ (鬼遊び)	器械・器具を 使ったの 運動遊び⑧ (跳び箱)	ゲーム⑨ (足)	体づくり の運動遊 び⑤ (多様く用 具・力試 し)	ゲーム⑨ (手)

※基本的に水泳の実技は扱わない。
水泳の心得、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方について指導することとした。

※走の運動遊びの「障害物を置いての
リレー遊び」と跳の運動遊びを、跳の
運動遊びの「助走」と走の運動遊びを
併せて指導することとした。

「器具や用具を共用する必要
がある単元は、実施をなるべく
後に回すよう配慮した。」

領域及び領域の内容	学習指導要領に示された内容					時数	
	内容の取扱い	知識 及び 技能	思考力・ 判断力・ 表現力等	学びに 向かう力、 人間性等	当初の予定	再編成後	
A 体づくり の運動遊び	ア 体ほぐしの運動遊び	二学年にわたって 指導すること (1学年、2学年の 両方で実施)	○	○	○	3	3
	イ 多様な動きをつくる運動遊び		○	○	○	12	9
B 器械・器具 を使っ たの 運動遊び	ア 固定施設を使った運動遊び		○	○	○	3	3
	イ マットを使った運動遊び		○	○	○	7	7
	イ 鉄棒を使った運動遊び		○	○	○	5	4
	ウ 跳び箱を使った運動遊び		○	○	○	8	8
C 走・跳の 運動遊び	ア 走の運動遊び	児童の実態に応じて 投の運動を加えて 指導することができる	○	○	○	8	7
	イ 跳の運動遊び		○	○	○	8	7
D 水遊び	基本的に今年度は扱わない					10	1
E ゲーム	ア ボールゲーム		○	○	○	20	18
	イ 鬼遊び		○	○	○	8	7
F 表現リズム 遊び	ア 表現遊び	学校や地域の実態に応じて 歌や運動を伴う伝承遊び及び自然 の中での運動遊びを加えてしど うすることができる	○	○	○	5	4
	イ リズム遊び		○	○	○	5	4
		各領域の各内容については、運動と健康が関わっていることについての具体的な考えがもてるよう指導すること					82

小学校学習指導要領 解説 体育編に「水泳運動系は生命にかかわることから、適切な水泳場の確保が困難で水泳運動系を扱えない場合でも、これらの心得については、必ず指導すること」とされていることから、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方についての理解も含めて指導することとした。